



WORK

街中オンリーであればホイールはデザイン重視でOK!しかしオフロードを本気で攻めるなら剛性の高いホイールを選びたいもの。さらに競技スペックを追求するのであれば、ワークのCRAG T-GRABICに刮目しよう!

剛性の塊!
その強さを探る

CRAG
T-GRABIC



堅牢なホイールで
走りをさらに
強化! Part. 1

Special Thanks : SAMMIT RACING PROMOTIONS

レース直系の
ジムニー専用サイズ



PHOTO & TEXT : 内田 靖
撮影協力 : JAOS TEL.0279-20-5511 <https://jaos.co.jp/>

世界一過酷なオフロードレース BAJA1000の参戦 マシンをサポート 最高峰のノウハウをフィードバック

(株)ワーク 開発部 開発課 主任
梅内 高広さん

「このホイールは世界一過酷と言われているBAJA1000に参戦している墙選手のマシン用に開発したホイールがベースとなっています。ハードなオフロード走行を大前提とした構造で、全てのデザインに意味があります」

おいて軽量化は大切なチューニング要素です。でもホイールメーカーからするとホイールの軽量化は絶対的であるという確かな裏付けはありません。あるドライバーと同じクルマに同じタイヤで軽量の鍛造ホイールと、それより少しだけ重量のある鋳造ホイールを履かせてサーキットでタイム測定したことがあります。結果ほとんどタイム差はありませんでした。そして感想を聞いたら『コーナーだと鋳造、直線だと鍛造が良かった』と言われました。ホイールの大切な性能のひとつにタイヤとの適合性が挙げられます。いかに相性良くはまり合うかが重要。分りやすく言えばフルブレーキした時のフイリングです。ブレーキによってタイヤは路面にグリップして止ま

近年のホイール選びは『鍛造』と『軽量』が大きなキーワードとなっている。鍛造は高剛性、軽量は加速性能が向上すると言われていたからだ。そのために『鋳造』と『重い』という言葉に対してマイナスイメージを持っている人は少なくない。では鋳造で重さのあるホイールは高性能ではないのか？ 答えはNO！ 鋳造で重くても優れたアルミホイールは存在する。その代表格と言えるの

がWORKブランドの『CRAG T・GRABIC(クラッグ ティーグラビック)』だ。T・GRABICは、アジアクロスカントリーラリー、そして世界一過酷なオフロードレースと言われるBAJA1000で活躍している墙選手のマシンが履くホイールをベースに市販化されたモデルだ。レース用は鍛造仕様だが、価格面で市販モデルは鋳造仕様となっている。また

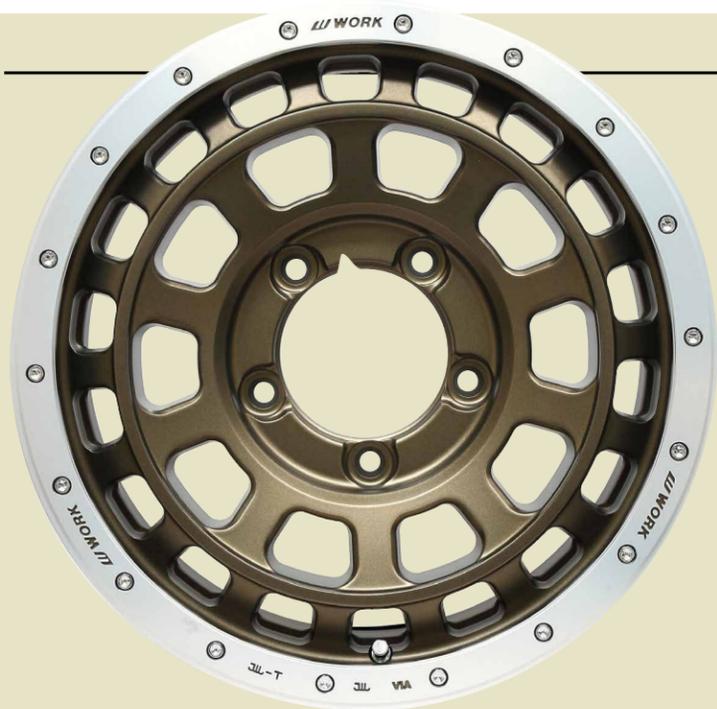
レース用はビードロックを装着するが、市販モデルはビードロック調整ラインであることが大きな違い。基本的なデザインや構造はしっかりとフィードバックされているのだ。それがどのような内容を開発に携わった梅内氏に伺ってみたい。『弊社は様々なレースマシンをサポートしています。そしてよくレーサーから『軽くして欲しい！』と言われます。確かにスピードレースに



ろうとするけど、ホイールは回ろうとする。その時に適合性が悪いとタイヤとホイールに大きなズレが生じて制動距離が伸びる。しかし適合性が良いと思いつきの距離でピタッと止まるのです。またハンブのデザインによりタイヤの保持力が左右されます。このように細部までしっかりと意味のあるデザインとすることでホイールの性能に大きな差が生じるのです。だから軽さがすべてではありません」と梅内氏は力強く語る。

T・GRABICは決して軽いとは言えないが、もちろんワザと重くしているワケではない。墙選手のレースマシンで培ったノウハウを基にJWL・TやVIA規格が定められるか上の数値を実現しているのだ。全てはハードなオフロードでもホイールの破損を心配することなく走るためである。強度や剛性を確保するにはどうしてもホイールを肉厚にしないと不可能。さらにオフロードを走る場合、路面追従性や路面へ

のトラクションを考慮すると重い方が有利なケースが多い。他に重視しているのは応力の逃がし方。走行中に万が一クラックが入っても『ここに応力を逃がしてここにクラックを入れた方が安全だ』という逃がしを持たせているのだ。またクラックによってエアが抜ける時も安全確保のため一瞬ではなく、少しずつ抜けるような作りとしている。これほどまでオフロードを考えたホイールが他にあるだろうか？



実物を見るとその立体感に驚かされる

正面からだとは分らないが、内側のリムを中心としてセンター方面はコーンケープ状、外側も傾斜をつけて立体感を演出している。見るからに剛性が高そうでオフロードテイストが濃い。

高級感を重視するならアッシュドチタンカットリムだ!



**JWL や JWL-T、VIA 規格をクリア
そのはるか上のレベルを誇る**

「JWL などの規格をクリアするのは当たり前のことです。それよりもどれだけ上のレベルで仕上がられるかが大切なんです。さらに応力の逃がし方を考慮しています」と梅内氏は語る。



**ビードロック調とは思えない
砂や土の浸入を防ぐ機能を備える**

初めて見た時「ビードロック仕様なんだ」と思ったが、ダミーと聞かされてびっくり。外側は段差が設けられていて、この部分がビードとピッタリフィット。細かな砂や土の浸入を防ぐのだ。



**ピアスポルトもダミー
どこを見ても本物かと錯覚**

ピアスポルトも飾り物とは思えないほど精巧にデザインされている。リム部の内側にざぐりが入っているの、見れば見るほどビードロック調とは思えなくなってくる。



**穴の位置をずらして
優れた剛性を確保**

内側と外側のホールの位置がずれているが、これは敢えてのデザイン。揃えるよりも剛性が高まるのだ。とにかく強度&剛性重視に徹している。



タイヤを前後左右にしっかりと保持する

矢印の盛り上がった部分がハンブと呼ばれる箇所。ここの高さやデザインによりタイヤの保持力が大きく左右される。非常に重要な役割を担うのだが、適当にデザインされているホイールは少なくない。

デザインのすべてが 高性能に繋がっている

堅牢なホイールで
走りをさらに
強化! Part. 1

CRAIG
T-GRABIC



サイズ 16x5.5J+20
カラー マットカーボンカットリム
アッシュドチタンカットリム
価格 35,000円(税別)

問い合わせ先

西日本コールセンター TEL.06-6746-2859
中日本コールセンター TEL.052-777-4512
東日本コールセンター TEL.048-688-7555
<https://www.work-wheels.co.jp/>